

学力向上を支える基盤づくりに向けて



鳥取県教育委員会

はじめに

近年、情報化やグローバル化といった社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難となっています。これからの社会に対応するためには、子どもたち一人一人が、予測できない変化に受け身で対処するのではなく、主体的に向き合って関わり合い、その過程を通して、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸福な人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要です。そのために、全ての児童生徒の確かな学力の向上は、今日の学校に課せられた喫緊の課題です。本県の各学校においても、学力向上に向けて、小中連携を図りながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善等、様々な取組が行われているところです。

全国学力・学習状況調査の結果を見ると、本県児童生徒の学力の定着状況は、小学校では、平成26年度以降、国語は全国と同程度か上回る状況ですが、算数において課題が見られる状況が続いています。中学校では平成28年度までは国語、数学ともに全国と同程度か上回る状況でしたが、平成29年度は国語が全国と同程度、数学がA問題で全国を下回る結果でした。

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
H29	76	74.8	57	57.5	77	78.6	46	45.9
H28	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2
H27	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
H29	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1
H28	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6

県教育委員会で、調査結果を分析した結果、以下の4つの内容について取組を行っている学校は、教科に関する調査の平均正答率が高い傾向にあることが分かりました。

- ◇ 基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた取組
- ◇ 学習規律の定着に向けた取組
- ◇ 家庭学習の充実に向けた取組
- ◇ 同僚性の構築に向けた取組

※次ページ
結果分析参照

それぞれの取組は、学力向上を支える基盤づくりの取組として重要な要素です。教員の大量退職に伴い若手教員が増加している中、すべての児童生徒に確かな学力を育むために、授業力向上に向けた取組と併せて、学力向上を支える基盤を築くための取組の重要性と、その具体的方策についても、学校全体で共通の認識をもち取組を進めることが求められます。

この度、各学校における教育活動の充実に向けて、学力向上を支える各取組における留意点や県内外の好事例、チェックリストについて「学力向上を支える基盤づくりに向けて」としてまとめました。

各学校において、各取組の留意点を確認した後に、チェックリストを活用して学校や教職員の取組を点検するなど、今後の教育活動の一層の充実に向けて活用いただくことを期待しています。

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果分析から

2教科4区分の平均正答率の合計値が県平均値よりも15ポイント以上高い学校 … A
 // 15ポイント以上低い学校 … B

【「基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた取組」関連】

◇前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか。

		そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そのとおりだと思う	どちらかという と、 そう思わない	そう思わない
小学校 (国語)	A	12.9%	61.3%	25.8%	0.0%
	B	11.1%	51.9%	29.6%	7.4%
小学校 (算数)	A	38.7%	61.3%	0.0%	0.0%
	B	29.6%	66.7%	3.7%	0.0%

【「学習規律の定着に向けた取組」関連】

◇前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか。

		そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そのとおりだと思う	どちらかという と、 そう思わない	そう思わない
小学校	A	51.6%	48.4%	0.0%	0.0%
	B	33.3%	59.3%	7.4%	0.0%
中学校	A	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%
	B	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

【「家庭学習の充実に向けた取組」関連】

◇前年度までに、算数の指導として、児童に与えた家庭学習の課題について、評価・指導しましたか。

		そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そのとおりだと思う	どちらかという と、 そう思わない	そう思わない
小学校	A	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%
	B	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%

◇前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章をかいたりしてくる宿題を与えましたか。

		そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そのとおりだと思う	どちらかという と、 そう思わない	そう思わない
中学校	A	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%
	B	8.3%	41.7%	50.0%	0.0%

【「同僚性の構築に向けた取組」関連】

◇平成28年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。

		そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そのとおりだと思う	どちらかという と、 そう思わない	そう思わない
小学校	A	35.5%	61.3%	3.2%	0.0%
	B	22.2%	74.1%	3.7%	0.0%

◇学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか。

		そのとおりだと思う	どちらかといえば、 そのとおりだと思う	どちらかという と、 そう思わない	そう思わない
中学校	A	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	B	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%

目次

はじめに	1
第1章 基礎的・基本的な知識・技能の定着に向けた取組	
1 個に応じた学習形態や指導方法の工夫 （1）学習状況の把握に基づく指導計画の工夫 （2）指導体制の工夫 （3）指導方法・評価方法の工夫	7
2 帯時間、放課後等の活用 （1）帯時間の活用 （2）放課後等の補充指導	11
トピック（授業づくりの基本）	13
チェックリスト	16
第2章 学習規律の定着に向けた取組	
1 学習規律の考え方	19
2 学習規律の定着に向けて （1）「時間を守る」児童生徒を育てるための指導 （2）「私語のない」授業をつくるための指導 （3）「人の話を聞く」児童生徒を育てるための指導 （4）「聞き手を意識して話をする」児童生徒を育てるための指導 （5）「学習用具の準備ができる」児童生徒を育てるための指導	19
3 効果的な取組にするために （1）共通理解・共通実践 （2）学年や実態に応じた段階的指導 （3）見通しを持った取組 （4）児童生徒の主体性を育む取組	25
チェックリスト	31

第3章 家庭学習の充実に向けた取組	
1 家庭学習の意義 (1) 家庭学習の意義 (2) 家庭学習で目指す児童生徒の姿	33
2 家庭学習の指導 (1) 目的の明確化 (2) 取組方法や内容の具体的な指導 (3) 学習内容の理解・定着に向けた家庭学習指導 (4) 自分で課題を見つける機会の確保 (5) 家庭学習の成果の共有 (6) 点検・評価の工夫	35
3 家庭学習とつながる授業づくり (1) 家庭学習とつながる導入・終末	40
4 自己管理能力の育成 (1) P D C Aサイクルでの育成 (2) 授業や学級での育成 (3) 家庭・地域との連携	41
5 学校全体での取組 (1) 情報共有 (2) 環境整備	44
チェックリスト	47
第4章 同僚性の構築に向けた取組	
1 気持ちのそろった教職員集団づくり (1) チーム力を引き出すリーダーシップ (2) 信頼感に基づくチームワーク (3) 学び合い育ち合う同僚性	49
2 戦略的で柔軟な学校運営 (1) ビジョンと目標の共有 (2) カリキュラム・マネジメント (3) 柔軟で機動性に富んだ組織力	51
3 校内研究の活性化	58
チェックリスト	61